

平成27・28年度
探究型学習によるたくましい高校生育成事業

探究型学習研究協議会 指導事例集

平成29年3月

青森県教育委員会

まえがき

21世紀の社会は、新しい知識・情報・技術が、社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要性を増す、いわゆる知識基盤社会であるといわれています。さらに、近年顕著となっているのは、知識・情報・技術をめぐる変化の早さが加速度的となり、情報化やグローバル化といった社会的変化が、人間の予測を超えて進展するようになってきていることであり、しかもそうした変化が、全ての子供たちの生き方に影響するものとなっています。

こうした時代を生きる子供たちには、これからの地域社会をけん引していく人財^{*}として、新たな価値を生み出し、未来を切り拓いていく力を身に付けることが求められます。青森県教育委員会では、施策の柱の一つに「学ぶ意欲や主体的に探究する力の向上」を掲げ、自ら課題を発見し、その解決に向けて主体的に探究する力の育成に取り組んでおり、高等学校においては、様々なテーマで探究型学習に取り組むことにより「探究心と自発性」を磨き、学習意欲を高め、学力向上を図ることを目的として、平成27・28年度の2年間にわたり「探究型学習によるたくましい高校生育成事業」を実施してきました。

その取組の一つとして、各教科における探究型学習の実践に関する研究協議を行うことを目的に「探究型学習研究協議会」を設置し、教科の特性を生かした汎用性のある探究型学習のあり方や、実践に当たっての課題等について協議を行ったほか、研究授業を実施するなどしながら、探究型学習の指導事例について検討を重ねてきました。

本事例集は、各教科のワーキンググループにおいて協議・検討を重ねてきた指導事例をまとめたものです。各校においては、これまでの実践を踏まえつつ、この事例集を活用しながら、今後、さらに探究型学習を推進していただくことを期待しています。

結びに、探究型学習研究協議会の設置に当たり、御支援いただきました県高等学校教育研究会の各部会及び探究型学習研究協議会委員・ワーキンググループメンバーとして、本事例集の作成に御協力いただきました教員の方々に対して、心から感謝申し上げます。

※ここでは、人は財（たから）であるという基本的な考え方から「人材」を「人財」と表しています。

平成29年3月

青森県教育庁

学校教育課長 和 嶋 延 寿

目 次

まえがき

国 語 1

地理歴史・公民 35

数 学 65

理 科 102

外 国 語 136

探究型学習研究協議会

委員・ワーキンググループメンバー一覧 148